

生態工学 2011 年第 2 回理事会議事録

日 時：2011 年 10 月 21 日（金）14:30～15:20

場 所：東京文化会館

出席者：会長、副会長、各委員会委員長および庶務理事

【総務委員会】

2011 年度生態工学会 第 2 回理事会

(1) 会員数・賛助会員数に関して報告があった。

以上

【企画委員会】

下記の報告がなされた。

1. 日本地球惑星科学連合2011年大会（合同開催）
日 時：2011年5月22日（日）～27日（金）
場 所：幕張メッセ（千葉県千葉市）
主 催：日本地球惑星科学連合
特記事項：オーラルセッション：「惑星と閉鎖生態系における生物のシステム—微生物からヒトまで」において、7件の講演を実施した。
2. 2011年度生態工学会年次大会（主催）
日 時：2011年6月15日（水）、16日（木）
場 所：宇宙航空研究開発機構 調布航空宇宙センター（調布市）
参加人数：77名、33機関
特記事項：一般セッション口頭発表 17 課題、ポスターセッション 13 課題
特別講演会：「放射性物質の生態影響—生態工学会として何ができるのか?—」
①基調講演「放射性物質の生態影響」大桃洋一郎（環科技研）
②講演「土壌放射能の除染に用いた場合に大量発生する廃棄植物体の閉鎖型処理システムの必要性」 多胡靖宏（環科技研）
（詳細は、学会誌 23 巻 3 号年次大会報告参照）
3. 生態工学定例シンポジウム（主催）
日 時：2011年11月24日（木）10:00～17:00 情報交換会 17:00～19:00
場 所：東京大学 弥生講堂一条ホール
特記事項：下記プログラムにて実施する予定である。
基調講演：東日本大震災における農林水産関係被害と対応／真鍋 郁夫（農林水産省）
農地土壌の放射能汚染／塩沢 昌（東京大学）
イチゴ施設栽培の復興に向けて／山田 久也（ヤンマーグリーンシステム(株)）
地域の復興に向けてスマートシティの活用／未定（スマートシティ企画株式会社）
水産業の被害状況と水産復興ビジョン／黒倉 寿（東京大学）
水産加工業の被害状況と復興／林 英一（日本技術士会）

4. 日本マイクログラフィティ応用学会第25回学術講演会（共催）
日 時：2011年11月28日（月）～11月29日（火）
場 所：IHI横浜事業所内ゲストハウス（横浜市）
主 催：日本マイクログラフィティ応用学会
特記事項：特別セッション「生態工学セッションー人類活動圏の拡大ー」を企画し、13件の講演実施予定。
5. 第55回宇宙科学技術連合講演会（共催）
日 時：2011年11月30日（水）～12月2日（金）
場 所：愛媛県民会館（松山市）
主 催：日本航空宇宙学会
特記事項：オーガナイズドセッション「宇宙で生きる！～人間居住環境拡大に向けて～」を企画し、15件の講演実施予定。
6. 定例研究会
定例理事会終了後に、下記のように実施する予定
- 第1回（開催済み）
テーマ「生命維持システム研究の歴史と生態工学会の20年
ー3000件の文献調査から見える日米欧ロの研究と中国の躍進ー」
日 時：2011年5月20日
会 場：駿河台記念館
講 師：宮嶋宏行先生（東京女学館大学）
 - 第2回
テーマ「最近の重要且興味深い元素：ウラン、プルトニウム；
希土類元素；ヒ素、カドミウム」
日 時：2011年10月21日（金）
場 所：東京文化会館
講 師：不破 敬一郎先生
 - 第3回
テーマ「未定」
日 時：未定
場 所：未定
講 師：未定

上記は、10月21日現在までに下記の(1)、(2)の企画を実施し、今年度内に(3)～(5)の企画を実施予定である。

以上

【表彰委員会】

下記の報告がなされた。

中間活動報告

(1) 表彰式の実施

2011年6月15日、宇宙航空研究開発機構 調布航空宇宙センターにて開催された2011年度総会の際に表彰式を行ない、以下の通り表彰した。さらに、学術賞受賞者による記念講演会を行った。また、学術賞受賞者には、会誌への寄稿をお願いしており、順次掲載される予定である。

【特別功績賞】

西崎進治

CELSSプロジェクトと学会運営への功績

【生態工学会賞学術賞】

増田篤稔 村上克介

微細藻類の高密度・大量生産技術の開発および実証に関する研究

【生態工学会賞功労賞】

寺添 斉

生態工学会の運営および生態工学分野の普及に関する貢献

富田・横谷香織

生態工学会および年次大会の運営に関する貢献

【論文賞】

武田美恵

都市緑地土壌の生物多様性評価に関する研究

新井真由美

「ミニ地球」研究の展望と LCM モデルを用いた火星における人工閉鎖環境の気象学的研究

三原真智人

土壌および肥料成分の流出抑制を目指したヤシ殻濾過帯による保全対策

大宅雄一郎

ステレオ画像を用いた魚運動の自動解析手法の開発

【奨励賞】

石村彰大

Water deficit index (WDI)を用いた丹沢山地におけるブナ群落の衰退状況の評価

【講演論文賞】

小口美津夫 桜井誠人 大西 充 島 明日香

次世代型水再生装置の開発

望月智貴 安田倫己 植山雅仁 鱧谷 憲

高橋善幸 米村正一郎 奥村智憲 東野 達 谷 晃

可搬型簡易渦集積採取装置の制作と簡易渦集積採取法によるカラマツ林から放出される BVOC フラックスの測定

遠藤雅人 柿本夏紀 金丸誠一 齋藤美里 大森克徳 竹内俊郎

異なる重力環境下におけるオオミジンコ *Daphnia magna* の姿勢保持

(2) 2012 年度学会賞候補者の募集

2012 年度学会賞候補者の推薦を学会ホームページと学会誌を通じて募集中である。
締め切りは 10 月 31 日。

(3) 2011 年度学会賞受賞者の紹介

2011 年度学会賞を受賞された方々の紹介記事を学会誌 vol.23 No.3 に掲載した。

(4) 賞状および記念品の送付

2011 年次大会において講演論文賞 (3 件) を受賞された方々に、賞状と記念品を送付した。

以上

【広報委員会】

2011 年度活動報告

下記の報告がなされた。

(1) SEE Quick 配信 (メール配信) の運営

SEE Quick 配信依頼に対する取り扱い方法の運用を通して、会員並びに関連学会からの情報の速やかな配信業務が成し遂げられ 10/11 までに 544 回情報提供を行った。今後も SEE Quick の配信業務を行いながら、問題点などを検証し改善に努める。

(2) HP の内容の更新

HP の内容のうち、更新が遅れている部分の再チェックを行った。

以上